

予防の強化と早期発見の推進

がんにかからない生活習慣の確立

- 【新】とやま快眠習慣サポート事業（440万円）
ICTを活用し県民の睡眠満足度が低い要因の分析と、改善方法の啓発を実施
- 【拡】食の健康づくり推進事業（520万円）
野菜たっぷり、減塩、シニア向け（小盛）などのメニューを提供する「健康寿命日本一応援店」の普及や、スーパー等と連携した減塩キャンペーンの実施
- 【拡】野菜をもう一皿！食べようキャンペーン（350万円）
野菜摂取1日350gを目指し、企業と連携した啓発等を実施
- 【新】シニアの食生活支援推進事業（120万円）
高齢者の栄養・食生活支援を担う人材育成等を実施
- 【拡】とやま健康経営パワーアップ推進事業（150万円）
健康づくり優良企業の表彰や健康づくり先進企業の事例発表等
- 働き盛りの健康づくり支援（健康ポイント）事業（450万円）
スマートフォンアプリを使用した健康ポイント事業を展開
- 生活習慣改善ヘルスアップ事業（健康合宿）（250万円）
国保加入者をターゲットにした健康合宿を開催
- その他関連事業（1,598万円）
ウォーキング等の運動習慣の定着や、青少年期における健康づくり教育、健康づくりボランティアへの研修等

【拡】受動喫煙防止対策推進事業（646万円）
改正健康増進法の全面施行に伴う受動喫煙防止の相談・指導対応及び関係者連絡会の開催等

たばこ対策関連事業（49万円）
大学生との共同禁煙プロジェクト等

肝炎対策事業

- 肝疾患診療連携拠点病院運営事業
指定拠点病院の運営補助（660万円）
- 【拡】肝炎ウイルス検査受検機会拡大事業
無料肝炎ウイルス検査の実施（300万円）
- ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業（435万円）
肝炎ウイルス検査費用の助成や肝炎ウイルス陽性者へのフォローアップ、職域での検査促進事業の実施
- 肝炎治療特別促進事業（9,048万円）
B型・C型肝炎ウイルス性肝炎の治療に係る医療費助成
- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（1,159万円）
B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がんや重度肝硬変（非代償性肝硬変）に係る入院医療費助成
- 肝炎コーディネーター研修事業等（56万円）
肝炎コーディネーター養成・継続研修の開催
肝炎診療協議会の開催

がんの早期発見体制の強化

【新】一緒にがん検診キャンペーン事業（250万円）
夫婦や友人、親子等が誘い合ってがん検診受診を促すキャンペーンを実施

大好きな人と一緒にがん予防
誘ってがん検診キャンペーン

5つのがん検診のうち1つ以上
受診した方が2人1組で
キャンペーンに応募可

がん検診の種類	検診方法	対象年齢
胃がん	内視鏡（胃カメラ）検査 （レントゲン（バリウム検査））	50歳以上 （40歳以上）
大腸がん	便の検査	40歳以上
肺がん	胸のレントゲン検査	40歳以上
乳がん	レントゲン （マンモグラフィ検査）	40歳以上
子宮頸がん	子宮入口の細胞をとる検査	20歳以上



【新】職域がん対策・横展開促進事業（120万円）

健康経営の観点から、がんの早期発見・早期治療の重要性や仕事と治療の両立について理解を促すため、事業所等における出前セミナー開催へ支援

胃がん対策強化事業（重点年齢検診）（180万円）

市町村の胃がん検診受診率向上のため、50歳代の受診（2回）に係る受診料軽減を支援

節目検診・重点年齢検診推進事業（2,878万円）
市町村の節目年齢検診（5歳毎）等へ助成

市町村のがん対策推進員活動支援（380万円）
研修会の開催等

中小企業がん検診推進事業（75万円）
商工団体の活動への支援

企業と連携したがん検診推進事業（26万円）
がん予防推進員の養成

【市町村がん検診受診率（H27年度）】

	胃	肺	大腸	子宮頸	乳房
富山県	12.9	33.8	26.6	27.5	29.6
全国	6.3	13.7	15.5	18.4	14.5

厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」より作成

【市町村・職域を合わせたがん検診受診率（H28年）】

	胃	肺	大腸	子宮頸	乳房
富山県	44.6	50.5	41.4	39.9	40.1
全国	38.4	43.3	39.1	35.6	36.2

厚生労働省「国民生活基礎調査」より作成

質の高い医療の確保

質の高い医療が受けられる体制の充実

・（国指定）がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金（5,310万円）
国指定拠点病院の運営補助

【拡】（県指定）がん診療地域連携拠点病院事業費補助金（600万円）
県指定拠点病院の運営補助

・緩和ケア病床への転換支援（2,500万円）

・診療情報管理士研修会（32万円）
拠点病院における院内がん登録の精度管理向上のための研修会を開催

・がんゲノム医療
がんゲノム医療中核拠点病院 富山大学附属病院
がんゲノム医療拠点病院 県立中央病院

調査・研究の推進

・がん疫学調査事業（1,287万円）
全国がん登録の実施により、がん医療の技術の向上に資するもの

【富山県立中央病院「先端医療棟」の実績】

（年間運営費24億円）

高度ながん医療の提供等を目的にH28年9月竣工・稼働

- 最新鋭のがん検査・治療機器の導入で早期発見・治療
 - ◆MRI：検査待ち期間が8週間→1週間に短縮（検査件数：33%増）
 - ◆CT：検査待ち期間が4週間→当日に短縮（検査件数：13%増）
- ロボット手術やハイブリット手術といった最新治療方法や患者への負担が少ない次世代の低侵襲手術が実現
 - ◆大腸の内視鏡手術の待ち期間が2～4週間→1週間に短縮
 - ◆「ダ・ヴィンチ」によるロボット手術を88件実施（H31年）

手術支援ロボット「ダヴィンチ」



内視鏡センター



患者支援体制の充実

がん患者の支援体制の充実

・がん総合相談支援センターの運営（1,595万円）
幅広い相談に対応する総合相談窓口の運営等（H25.9 サンジップ内に設置）

・がんのピアサポーター養成事業（122万円）
がん経験者等ががん患者を支援するピアサポーターの養成

・がんのピアサポーターフォローアップ研修事業（35万円）
ピアサポーターの資質向上

・がん患者サロン交流事業（82万円）
ピアサポーターによる交流サロンの開催

・乳がん患者活動支援事業（33万円）

・がん患者在宅療養支援体制整備事業
医療・保健・福祉関係者事例検討会の開催（123万円）

働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実

・小児・AYA世代の交流・ミニ講座（50万円）
小児やAYA世代のがん患者・家族の不安軽減や療養意欲向上のための交流会等の開催

・小児・AYA世代のがん相談体制強化（41万円）
小児・AYA世代のがん患者支援に関するセミナー開催

【新】骨髄移植患者等への定期予防接種ワクチン再接種費用助成事業（100万円）

推進体制の強化

・がん対策推進県民会議・がん対策推進協議会の運営（156万円）



がん総合相談支援センターの様子
※看護師4名による相談対応

【県がん総合相談支援センター・拠点病院相談センターの相談件数】

年度	H26	H27	H28	H29	H30
相談延べ件数	4,469件	4,530件	4,670件	5,169件	5,958件

【ピアサポーター登録者数】

年度	H26	H27	H28	H29	H30
ピアサポーター登録者数	38人	53人	71人	73人	90人

所管部局名のない事業は、厚生部所管事業